



### 認定NPO法人 自然再生センターの活動について

認定NPO法人 自然再生センターの活動の一つで地域の皆さんと小中学生や、子ども達も参加して、天神川の水草狩り&生き物観察会を行っています。ここで採れた水草は、古志原地区の畑に持ち込んで、雑草抑え・保水に使用しています。これらの活動は、小中学生の皆さんのSDGsを体験する学習の一環となっています。

ちなみに、この事業は⑩海の豊かさを守ろう⑯陸の豊かさを守ろう⑰パートナーシップで目標を達成しようの3つ...を実践しています。...この畑はどこにあるかな？



### 「松江祭 藝行列」参加のお願い

10月16日に新型コロナウイルスの影響で3年ぶりに開催された松江の秋の風物詩「松江祭 藝行列」。私も生まれたまち東片原町の一員として、参加しました。沿道は、これまで目にしたことがないような人出(約9万人)で、参加された方々からは、「人が多かった!」「すごい熱気だった!」と聞かれました。「祭り」は地域の絆を深め、人々の心のよりどころだと思います。今後は途絶えることなく開催されることを切に望みます。

ただし、当初、参加表明は21団体にのびりましたが、その後、不参加表明が相次ぎ結果的に14団体になりました。第一の理由はコロナ禍で参加人数を揃えられなかったためですが、根本的な原因は人口減少です。人口減少は「祭り」の開催にも多大な影響を及ぼしています。

ここでお願いですが、古志原の皆さまには、次回、藝の引手として親子でご参加いただけないでしょうか。また、藝を叩くことに興味のある方は、ぜひ、練習の見学にお出かけください。お声がけしますので、100年以上の歴史がある、松江の伝統行事継承のため、ぜひよろしくお祈りします。



### 松江商工会議所青年部 祝 45周年(令和4年9月17日)

松江商工会議所青年部は令和4年度に設立45周年を迎えました。私は25歳から青年部卒業年の45歳までの20年間、所属し活動いたしました。会長として平成19年、設立30周年事業を主催し、くにびきメッセに全国から1万2千人を動員した記念イベントを、多くの仲間とともに成功させることができたことは何より貴重な経験となりました。9月17日、記念式典・祝賀会に臨席し丸山達也島根県知事、上定昭仁松江市長、田部長右衛門商工会議所会頭のあと、OB会会長として祝辞を述べました。上定市長は「MATSUE DREAMUS 2030」を掲げ一緒に松江を盛り上げようと呼びかけられ、田部会頭はスタートアップ企業の支援を中心に若い力で地域を盛り上げよう!と鼓舞されました。私は、「松江商工会議所青年部は、松江市の地域発展のため、様々な事業を通して豊かで住みよい郷土づくりに貢献する。」とした設立趣意書、綱領などの意味を節目の年に今一度読み返して活動につなげてほしいと伝えました。青年部での経験の数々を今後の議員活動に活かしてまいります。



### 令和4年12月定例会 主な日程

- 11月30日 本会議(会期の決定、提案説明)
- 12月5日 本会議(一般質問、代表質問)
- 12月6日 本会議(一般質問、一問一答質問)登壇予定
- 12月7日 本会議(一般質問、一括質問)登壇予定
- 12月8日 総務委員会
- 12月9日 教育民生委員会 副委員長として参加
- 12月12日 経済委員会
- 12月13日 建設環境委員会
- 12月16日 予算委員会
- 12月20日 本会議(最終日)

### 耳より情報

#### 水道料金などの2カ月分の減免を行います。

コロナ禍における燃料費や物価の高騰に対し、市民生活における負担を軽減します。※申請不要  
対象月は、10月~11月分または11月~12月分  
※平均的な3人世帯で1世帯当たり6千円程度

#### プレミアム飲食券の販売期間と使用期間が延長になっています。

まだまだ買えます。  
▶令和5年1月15日まで  
まだまだ使えます。  
▶令和5年1月31日まで

インターネットやコンビニでの操作が苦手な方でも簡単に買える方法  
しまね信用金庫、島根中央信用金庫の窓口で簡単に買えますよ!!

### 松江市議会議員 原田まもる通信

# 地域をまもる。だより

## Vol.4

(発行日)2022年12月4日

(発行者)原田守後援会事務所 / 松江市雑賀町225 TEL.0852-27-0925 FAX.0852-20-0460



### 3年ぶりの秋...

今秋は「3年ぶり」の風景を数多く目にする事ができました。「松江水燈路2022」「松江祭 藝行列」「松江城大茶会」が3年ぶりに開催され、多くの観光客の皆さまもお迎えして、久しぶりに松江市内に賑わいが戻りました。公民館祭りなど町内での行事も市内各地で開催され、私も古志原公民館まつりに準備から参加させていただきました。町内の皆さまのマスク越しの表情には、日常が戻りつつあることへの喜びがあふれていて、私は深く感動しました。

今後、さらに教育の現場に平穏な日常が戻ることを、全国旅行支援・水際対策緩和を背景に松江市の観光業の復活、プレミアム飲食券の利用増加によって、飲食業界に活気が戻ることを、多くを願わずにはられません。今月2日には松江市がポストコロナの観光戦略会議を開き伝統工芸などの職人を

集めた「職人商店街」の整備、安定的な財源確保などを重点的に取り組む案が示されました。私も引き続き市議会議員としてできること、するべきことを探求してまいります。

ただ、新型コロナウイルスの感染状況については全国知事会より「すでに感染の第8波に入っている」として、ワクチン接種の促進等を国に求める緊急提言がなされました。また、インフルエンザの同時流行が心配されています。先月28日には、県内の高校でインフルエンザ患者の集団発生が確認されました。松江市では高齢者インフルエンザ予防接種が10月1日より実地されており、新型コロナウイルスワクチン4回目の接種も引き続き行われています。重症化を予防し、取戻しつつある日常を守るためにもお一人お一人が、流行の第8波・同時流行へ備えていただければと思います。

### 令和5年度県知事要望

#### 『古志原地区関連分』新規

- ・自然災害防止事業  
【急傾斜地崩壊対策事業】一の谷地区  
昨年7月に起こった大雨(通称:七夕豪雨)により、一の谷地区で斜面崩壊が起きました。  
昨年度は、近隣住民の皆様の合意により急傾斜地崩壊対策の要望活動を行いました。その結果令和4年度に入り現地調査が行われこの度、令和5年度県知事要望に載りました。事業完了まで、地域住民の安心安全が確保されるよう努力いたします。

#### 『古志原地区関連分』継続分

- ・道路整備事業  
【防災道路】 国道432号(古志原工区、大庭バイパス)
- ・自転車ネットワーク道路  
【自転車通行帯整備】 国道432号(相生町交差点~古志原郵便局前)



### 令和4年度 古志原公民館まつり開催

令和4年10月30日 日曜日

ステージを組んでの開催は、3年ぶり。キッチンカーを配置しての飲食ブースも用意され、当日は1500人のご来場者を迎え盛大に開催されました。本当におめでとうございました。受付を済ませるとお目当てのブースへ直線に...この日を多くの皆様が待ち望んでいたことが、行動や表情から伺われます。

私自身は、前日のテント設置に始まり当日は受付係と片付けに参加しました。またオープニングの挨拶では、この古志原から3人の市議会議員が選出されていることに触れ、今後とも地域のために働く事をお話しさせて頂きました。

## 6月定例会 一般質問〈抜粋〉

### 1 新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症 後遺症患者の実態と市の対応について伺う。

感染状況が落ち着いている(今月12日に県内感染者数は5か月ぶりに1桁)今だからこそ、後遺症等の実態などの現状把握や分析が必要と感じる。慶應大学の大規模調査の分析結果の発表(1年後に何らかの後遺症が残ったとの回答が3割に上る)、NHKで深刻な状況が報道されるなど、後遺症への関心が高まったと感じるからである。

**Q** まず、松江市における新型コロナ感染者(6月19日累計陽性者数:7,063人)の退院、宿泊療養、自宅療養後のフォロー状況を伺う。

**A** 感染療養解除後は、特にフォローは行ってないが、体調などで気になることがあれば、松江保健所の健康相談コールセンターへご相談いただくこととなる。

**Q** 松江市の後遺症患者への対応を伺う。

**A** 県では、かかりつけ医が必要に応じて専門的医療機関を紹介できる体制が整備されている。まずは松江保健所の健康相談コールセンターにご相談いただければ、かかりつけ医など身近な医療機関の受診など、必要なご案内を行っている。

**Q** 保健所、医療機関への相談状況、相談者数、通院状況、通院者数を伺う。

**A** 後遺症については、不明な点が多く、様々な機関で調査研究が行われている最中であり、定義や実態把握の方法が示されていないことから、松江保健所や医療機関への相談状況や相談者数、通院状況や通院者数などを把握することは困難な状況である。

**Q** 後遺症におけるワクチン接種の有無に関連性が認められるか伺う。

**A** 海外研究により、ワクチン2回接種後に罹患した場合、28日以上症状が続く確率が約半分になることが国のQ&Aに示されている。

**Q** 松江市での後遺症患者への対応で認識している問題点、今後の対応を伺う。

**A** 後遺症については、不明な点が多く、定義や実態把握の方法も示されていないことが課題だと考えている。症状の有無や必要性に応じて、市民が健康相談コールセンターへ相談できるように、本市ホームページ等を活用して周知していきたい。また今後、後遺症に関する研究により得られる知見について、情報収集に努めていく。

**Q** 後遺症、健康不安については健康相談コールセンターに相談できる旨をご答弁いただいたが、市のホームページでは分かりにくいので、アクセスし易いようにご変更いただけるか伺う。

**A** 議員の指摘を受けて、早急に検討して分かりやすいようにしたい。  
その後・・・間もなく市のホームページが改良され、後遺症に関する受診の流れが分かりやすく示され、後遺症に関するQ&Aも掲載されている。ちなみに県では6月よりコロナ後遺症の相談件数を集計しており、6月は22件だったのに対して、8月は79件、9月は74件と急増している。松江市の後遺症患者の実態については今後も公表を求めていきたい。

### 2 島根県の観光プロモーション認知度低下について

松江市の認知度向上についての認識と施策について伺う。各種媒体で島根県の観光プロモーション認知度低下が報道されたが、国際文化観光都市である松江市としては、深刻に受け止めるべきであると考えている。

**Q** 認知度向上施策の一つとして、ご当地ナンバーの取得を望む声がしばしば聞かれる。正式に言えば地方版図柄入りナンバーだが、走る広告塔として地域の魅力を全国に発信することができる。昨年、出雲ナンバーが導入され、出雲神話に登場するヤマタノオロチの図柄の入ったカラープレートを目にされた方も多と思う。4月26日に導入地域を新たに募集すると発表されたが、当市は、取得の要件に見合うか伺う。

**A** 本年4月に導入基準が緩和され、新たに普通自動車の台数に軽自動車の台数を加えた台数要件が追加された。単独市区町村での導入の場合の台数要件は、普通自動車10万台以上、または普通自動車と軽自動車の合計が17万台以上となっている。これに対して、本市の普通自動車は約8万台、普通・軽自動車の合計は約15万2,000台で、台数要件を満たしてはいない。

**Q** 今後さらに導入条件緩和が行われた際には、ぜひ取り組んでいただきたい。認知度上昇について市の考え方等、具体的な施策を伺う。

**A** 上定市長答弁: 先般、策定した松江市総合計画では、全国の1,000の市区町村を対象とするブランド総合研究所による地域ブランド調査を認知度の評価指標としている。2030年の目標30位に対して、2020年は140位、2021年は110位という実績になっている。目標達成に向けて情報の発信力や訴求力を強化していく必要があり、SNSを有効活用し、令和5年2月に予定しているホームページの全面リニューアルでは、観光情報のみならず、定住支援やふるさと納税などの特設ページを設けるなど充実化を図り、松江の推しを発信していきたい。また、観光資源のPRはもとより、文化、スポーツの振興を通じて松江の認知度と魅力を相乗的に高めていきたい。先般のB1チャンピオンシップにおける島根ササノオマジックの活躍は、全国のファンを魅了したと同時に、本拠地である松江の認知度向上と魅力アップももたらしたものと捉えている。今後も球団と連携協力を図り、本市のPRにつなげていく。さらに、アフターコロナを見据えて、内外でのトップセールスに力を入れたい。台湾、インドの行政機関やパートナーになっていただきたい民間企業、また東京松江会をはじめとする市人会との連携にも取り組んでいく。

### 3 松江市の出資会社について(市の出資比率50%以上の株式会社は全部で4社)

**Q** 会社経営には中長期計画や理念経営が必要だが、市長は出資会社に対しどのような姿勢で向かうか伺う。

**A** 本市が出資している株式会社は、それぞれ個別の目的を持って設立されている。本市では、松江市外郭団体等に対する関わり方の基本方針を定めており、その中で株式会社については、経営及び事業における自主性を尊重することとしている。それぞれの株式会社には、民間企業として独自の経営方針を持ちつつ、時勢を的確に捉えた機動的な運営を行い、地域振興につながる事業が展開されることを期待している。

## 9月本会議

### ○令和3年度決算審査

決算状況	令和元年度	令和2年度	令和3年度
歳入決算	1018億3,792万円	1280億1,466万円	1109億2,488万円
歳出決算	1003億3,796万円	1251億9,486万円	1079億1,050万円
差引(歳入-歳出)	14億9,996万円	28億1,980万円	30億1,438万円

### ○令和4年度一般会計補正予算(第4号~6号)

- ・水道料金の減免措置
- ・家畜農家、交通事業者や運送事業者への支援
- ・2価ワクチンの接種体制整備・住民税非課税世帯等に1世帯当たり5万円の支給



### 島根県市議会議長会研修会 令和4年8月2日

\*「データの利活用による地域の諸課題の解決」  
総務省統計局統計利用推進研究官・長藤洋明氏  
\*「島根県におけるアフターコロナの観光地づくり」  
跡見学園女子大学コミュニティ学部准教授・篠原靖氏  
上記、お二人の講演を受けました。  
令和4年6月本会議でもコロナ関係のデータにこだわった一般質問をさせて頂きました。この度も様々に得られたデータを正しく分析して活用することで正しい政策を導く必要があることを再確認いたしました。今後の一般質問でもデータを元にして討論させて頂きたいと思っております。

### 議会広報等委員会の研修 令和4年8月25日(島根県市町村広報研修会へ参加)

第1部では講師の方から、議員だよりの在り方(誰が見るのか)、紙面の使い方(見てもらえる構図)、写真の位置、陥りやすいミスリード、色使い例えば一色でも濃淡により多色に見せる方法、文字ポイントの使い分け等基本的な事を講演していただき、第2部では自治体が事前に提供した冊子を元に添削を頂きました。  
その研修を活かし「地域をまもる。だより」のVol.4より紙面を大きく変更してお届けします。また「議会だより」にも活かしていきます。



### 教育民生委員会 行政視察 令和4年10月12日~14日

1. 明石市(5つの無料化①子供の医療費②第2子以降保育料③おむつ④中学校給食⑤公共施設の入場料のうち、④中学校給食無償化事業について)  
明石市では市内全中学校でH30.4月から給食が開始され、R2.4月より給食費が無償化。高校受験等の教育費を必要とする中学校の給食費を優先とした。中学校給食費の無償化は中核市やそれ以上の自治体では全国初。
2. 明石市(0歳児見守り訪問「おむつ定期便」について)  
令和2年10月から始まり、生後3か月から満1歳までの赤ちゃんがいる家庭に、子育て経験のある見守り支援員が月齢ごとの子育て情報紙と3,000円相当の赤ちゃん用品を毎月お届けする。経済的負担の軽減、子育てへの不安解消だけでなく、必要に応じて関連部署と連携し、支援につなげる。
3. 大阪府大東市(家庭教育支援事業について)  
「家庭教育がすべての教育の出発点である。」と捉え、地域・学校・行政が一体となり徹底的に応援している。
4. 小野市(「おの 夢と希望の教育」について)  
脳科学を教育の基礎に捉え、ICT化にも「NO!」と言える根拠になっている。「おの検定」(漢字・計算・英語・スピード計算・音読)を中心に捉えた5年4年の小中一貫教育。



・・・行政視察を終えて・・・  
子育て・教育行政に定評のある明石市をはじめ、3市を行政視察いたしました。期待どおり、今回の教育民生委員としての視察は大変、有意義なものになりました。特に、明石市であれば市長、大東市と小野市であれば教育長のトップによる強いリーダーシップが発揮されていることを感じました。そしてその理念が、関係される方々に浸透していることも感じました。  
松江市総合計画には「ここに生まれてよかった 子育てでよかった」と市民の皆さまが実感していただき、「合計特殊出生率2.22」「子育て支援策に満足している市民の割合60%」という目標があります。大きな目標実現のためにしっかり参考にさせていただきたいと思っております。

### 中核市サミット参加 令和4年10月27日~28日

10月27日豊田市で開催された、中核市(松江市は平成30年4月に中核市に移行)サミットに参加しました。都市共通の課題について議論し、その成果を全国に発信するものです。日本大学次世代社会研究センター長 大澤正彦氏迎え、基調講演「未来の未来を探る」を拝聴しました。刺さった話の1つはゼミを選択した学生が、自己紹介研修を受けることです。「自分自身を他者に知ってもらうためにはまず自分自身を深く知ることが肝心で、それを明文化することが必要」とされ、自己紹介を完成するために3か月を使います。これは個人だけではなく、会社でも組織でも有効だと再認識しました。パネルディスカッションでは、上定昭仁市長もパネラーとして登壇し「MATUE DREAM 2030」について発表し、松江の魅力と取り組みをアピールされました。また、SDG'sが標榜される以前から環境都市として取り組まれている「トヨタecoful town」も視察しました。TOYOTAの企業バックアップがあって出来ることかもしれませんが、松江市も平成18年に地球環境保全と平和都市宣言を行っていますので、今後さらなる環境保全に努めていきたいと決意しました。

